

# 進路だより

発行：平成25年9月27日

## 1 スコラ手帳について

後期課程進学後、連絡帳に変わる手帳として、スコラ手帳を使用しています。7月に使用実感アンケートを実施しました。全国集計結果も含めてお知らせします。

進級前の3月の保護者会でもお知らせしたとおり、このスコラ手帳の導入には、次のような目的があります。スタディーサポートの結果、全国平均に比べて、大幅に1日の学習時間が少ないことがわかりました（平日1時間未満）。学習時間を増やすためには、次の3つのポイントが重要です。

- ①計画を立てて学習に取り組むこと。
- ②学習しないといけない項目を整理すること。
- ③学習を記録すること。

これらをスムーズに実行するために、スコラ手帳は導入されています。

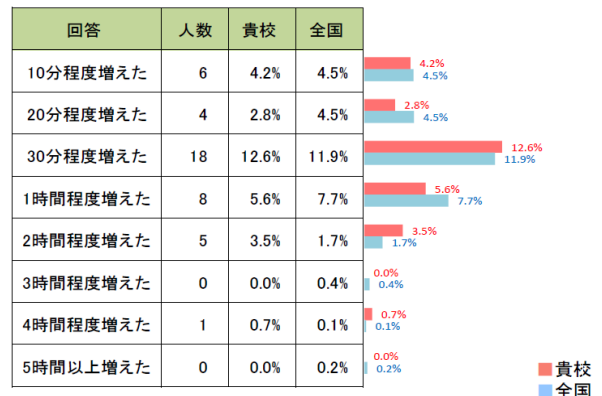
### ①学習時間について（4学年）

## 2.学習時間

Q. テスト前を除いた平日と土日の平均学習時間は？

平日			回答	土日		
人数	貴校	全国		人数	貴校	全国
13	9.1%	12.1%	0(勉強していない)	11	7.7%	12.9%
17	11.9%	13.8%	30分未満	16	11.2%	11.0%
20	14.0%	20.3%	30分～1時間未満	14	9.8%	14.2%
56	39.2%	25.9%	1時間～2時間未満	31	21.7%	18.9%
22	15.4%	14.3%	2時間～3時間未満	36	25.2%	17.6%
8	5.6%	4.2%	3時間～4時間未満	15	10.5%	9.1%
0	0.0%	1.2%	4時間～5時間未満	7	4.9%	4.6%
0	0.0%	0.7%	5時間以上	5	3.5%	4.2%
4	2.8%	4.2%	わからない	6	4.2%	4.8%
3	2.1%	3.3%	未回答	2	1.4%	2.6%
143	100%	100%	合計	143	100%	100%

Q. 1日の家庭学習時間がどの程度増えましたか？



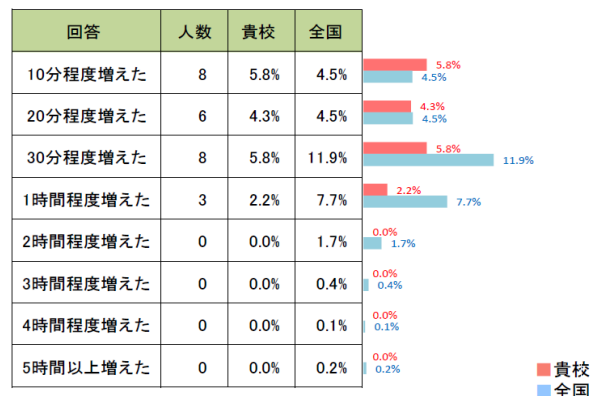
### ②学習時間について（5学年）

## 2.学習時間

Q. テスト前を除いた平日と土日の平均学習時間は？

平日			回答	土日		
人数	貴校	全国		人数	貴校	全国
13	9.4%	12.1%	0(勉強していない)	9	6.5%	12.9%
20	14.5%	13.8%	30分未満	8	5.8%	11.0%
28	20.3%	20.3%	30分～1時間未満	18	13.0%	14.2%
37	26.8%	25.9%	1時間～2時間未満	36	26.1%	18.9%
21	15.2%	14.3%	2時間～3時間未満	29	21.0%	17.6%
4	2.9%	4.2%	3時間～4時間未満	19	13.8%	9.1%
1	0.7%	1.2%	4時間～5時間未満	3	2.2%	4.6%
1	0.7%	0.7%	5時間以上	2	1.4%	4.2%
6	4.3%	4.2%	わからない	9	6.5%	4.8%
7	5.1%	3.3%	未回答	5	3.6%	2.6%
138	100%	100%	合計	138	100%	100%

Q. 1日の家庭学習時間がどの程度増えましたか？



①、②の結果から4学年は平日1時間以上学習する生徒が78人と学習時間が増えていることがわかります。後期課程進級後、学習への意識が高まったことがわかります。逆に、5学年は平日1時間以上学習する生徒が64人と学習時間が増えていません。4学年への進級時点の1日の平均学習時間より増えていない結果となりました。また、5学年には1日の平均学習時間が30分未満の生徒が33人という結果になっています。

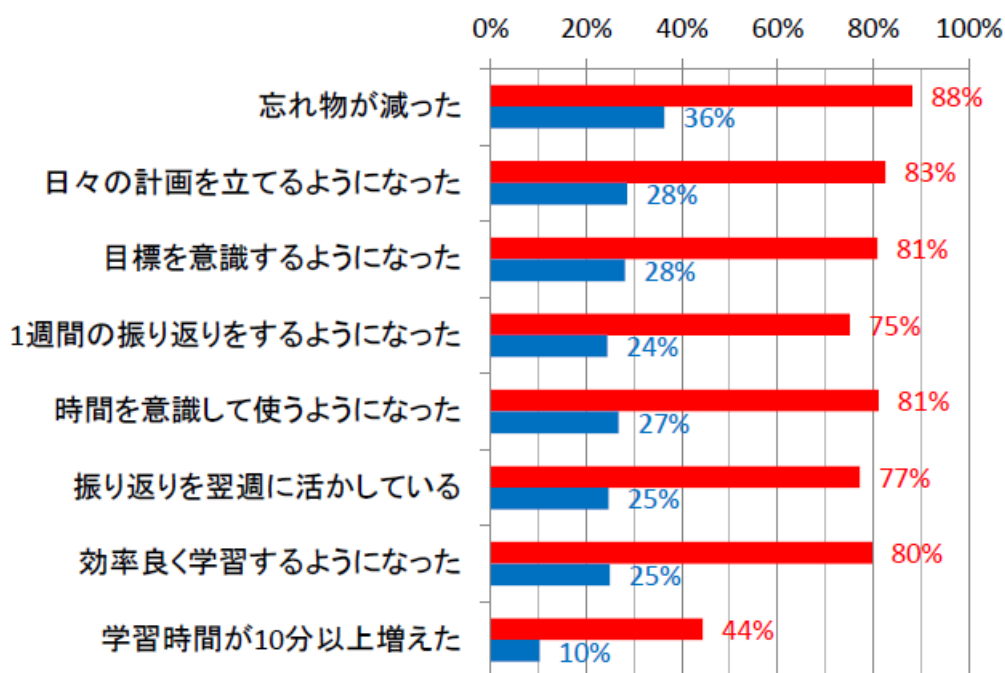
本校生徒の特徴として、学習している生徒はしっかり学習に取り組み、授業への取り組みや、提出物状況も良く、学力が向上しているが、その反面、全く学習に取り組みず、それでいて、学力が向上しないことだけを悩んでいる2極化の様子が良く現れた結果となりました。

来週から期末考査がはじまります。学習しないで悩むのではなく、学習して悩む附属生へと早く成長してほしいと思います。

### ③手帳に記録すること

すでに多くのメディアに取り上げられていますが、手書きで記録することが、様々な点で効率を上げます。次のグラフは、手帳を使用している生徒とあまりしていない生徒の比較です。一目瞭然ですが、手書きで記録する効果が現れています。今は、できる生徒は手書き記録の時代です。

## ②スコラに書くことが ■増えた生徒 と ■変わらない生徒 の比較



## 2 手帳甲子園について

スコラ手帳を活用している生徒は、手帳甲子園に応募できます。平成25年10月31日(木)までに、取り組み部門か個人部門で応募してください。詳細は下記のアドレスを参考にしてください。個人部門は自分独自の使い方やルール、継続的に手帳を使う工夫などの活用度が審査されます。学校から応募しますので、応募を検討している生徒は、進路指導準備室まで相談に来てください。

手帳甲子園のアドレス

<http://www.noritsutecho-planners.co.jp/scola/koushien.html>